

『○○』…を持つと…(2020.08.21~)

The article was presented by 『TAKUMARO'S FACTORY』,
<https://www.factory-takumaro.com/>

『○○』…を持つと…

『権力』、『地位』、『お金』、『知識』、『技術』、『知恵』、…

これらを持つと人は変わるのだろうか…

現実社会を観察して見る限り、どうやら、変わってしまうようである。それとも…

『足る事を知らない…』

それが人というもの

…

なのだろうか…

『権力』、『地位』、さらに、此処に付随した形で『お金』、に関してのこれらの例は、リアルタイムで僕らは確認出来る時代に生きている。ある意味では最悪の世界(時代)にいる。自民党、公明党の看板を掲げている国会議員を見ていれば、本当に良く解る。これまでの彼らの悪行の積み重ね、また、自分達が、その悪行に加担している事も理解せず、次の選挙でも当たり前のように、また『国会議員』でいるつもりでいる。有権者は、それだけ舐められている。舐め続けられている。分断とは、次のような事を言う。

『(彼らは) 給付金!』

そして、寝惚けている有権者は…

『やった! 給付金!』

でもね…彼らの立場は、人々から巻き上げた物の上に成り立っている。だから、

現日本国憲法第15条、第2項に

『すべて公務員は、全体の奉仕者であって、一部の奉仕者ではない。』

とある。まあ…公務員はそのお金(給与)は、そもそも人々から巻き上げた物なのだから、その事も加えて常に心に留めておくべきだろう。その公務員の中でも、極めつけの最低の職種(職種)が

『政治家(せいじや)』

である。この国には『せいじか』は存在しないように僕は思う。

話が、長くなった。僕個人にとっては給付金ではない。

『返金!!!』

である。意味が解らないのなら、自分の食費に掛かる2~3年分の消費税を試しに計算をして見るといいだろう。

寝惚けているからか…立場の違いか…確かに此処に『分断』がある。

『○○』…を持つと…(2020.08.21~)

The article was presented by 『TAKUMARO'S FACTORY』 ,
<https://www.factory-takumaro.com/>

『権力』、『地位』、『お金』、『知識』、『技術』、『知恵』、…

これらを持つと人は変わるのだろうか…

もし変わるとするのなら…何が変わるのか…

例えば…その人の姿勢なのだろうか…

『誠実であること』

『謙虚であること』

『勤勉であること』

『公正であること』

『責任を果たすこと』

…

どうなのだろうか…ただ、僕は政治家という人種を見て

『5枚舌』

という技術や

『面礼腹笑』

という芸当を感じてしまう。悪知恵の具体例か。まあ、最低で最悪の人達の話はもう止めよう。次の選挙で、少なくとも

『悪行を積み重ねた人達、悪行に加担した人達、に票を入れない。』

そういう健全な精神（こころ）は持って置けばいいだけの話なのだから。

…

「いや…皆…桜の花を見るのが好きか…」

そう言った、呆れかえる『国柄』…というような気もしているのだが

…

さて、少し、此処までのお話の核を確認する。

『権力』、『地位』、『お金』、『知識』、『技術』、『知恵』、…

これらを持つと人は変わるのだろうか…

もし変わるとするのなら…何が変わるのか…

例えば…その人の姿勢なのだろうか…

『誠実であること』

『謙虚であること』

『勤勉であること』

『公正であること』

『責任を果たすこと』

『○○』…を持つと…(2020.08.21~)

The article was presented by 『TAKUMARO'S FACTORY』,
<https://www.factory-takumaro.com/>

…

この中の、『謙虚であること』の反対は、『尊大であること』になるのだろうか…
まあ、他にもあるのかもしれないが、『誠実に』『謙虚に』『勤勉に』『公正に』努め、
その『責任を果たすこと』。そのような姿勢で在り続けたいと思う。しかし…
『誠実に』『謙虚に』『勤勉に』…
その結果、得られた『知識』や『技術』、更には『知恵』は何を齎すのだろうか…

個人に『怒り』を齎すのか…それとも、やはり、
『尊大』な態度を齎すのだろうか…

(ここからは、数学のお話です。少し…レベルが高いお話です…)

$$e^{i\pi} + 1 = 0$$

この数式は

『博士の愛した数式』著 小川洋子 新潮文庫 (所収) の p 187 ~ p 193 に登場する。
僕は、この小説を読んだときに…

「…はあ？何を当たり前的事を言っているんだ…？」

この本の、前後数ページを何度も (当時) 読み返した。しかも、**太字で強調**されている。

「はあ…！？なんで…！？」

当時、結局2週間、考え続けて辿り着いた、僕の (僕なりの) 解釈は

$$i, e, \pi, 1, 0$$

と言った、**数の大御所達が一堂に会しているから**。だった。そう言われてみれば、確かに不思議な事なのかもしれない。今もって、これを超える意識は僕には解らない。

「…はあ？何を当たり前的事を言っているんだ…？」

というのは、**数として見ているのではなく、関数の特殊値として見ているから**、なのである。

実数の世界に於いて実関数 $f(x)$ を

$$f(x) := \sum_{n=0}^{\infty} \frac{f^{(n)}(0)}{n!} x^n$$

と ($x=0$) のテイラー展開に於いて定義し直す。それから、この定義し直した

『〇〇』…を持つと…(2020.08.21~)

The article was presented by 『TAKUMARO'S FACTORY』,
<https://www.factory-takumaro.com/>

実関数 $f(x)$ を元にして、複素関数 $f(z)$ を (z は 複素変数にして (視野を広げ))

$$f(z) := \sum_{n=0}^{\infty} \frac{f^{(n)}(0)}{n!} z^n$$

と定義し直す。理論として (一致の定理のこと)、このような事が許される事が解っている。
そして、この複素関数 $f(z)$ に対して

$$z \rightarrow iz$$

を代入して

$$f(iz) := \sum_{n=0}^{\infty} \frac{f^{(n)}(0)}{n!} (iz)^n$$

を考えて、この関数を実部の関数部分と (n が偶数の時)、虚部の関数部分 (n が奇数の時) とに分けて纏めて見る。 それらを複素指数関数の

$$e^z$$

に対して行うのである。複素指数関数の e^z は

$$e^z := \sum_{n=0}^{\infty} \frac{1}{n!} z^n$$

とテイラー展開と一致の定理により上記のように定義し直せる。此処に、

$$z \rightarrow iz$$

を代入する。整理してまとめて、他の知識と照らし合わせて (指数関数だけでなく、三角関数や対数関数なども、テイラー展開と一致の定理により定義し直せる)

$$e^{iz} = \cos z + i \sin z$$

という、オイラーの公式と呼ばれる指数関数と三角関数の関係式を得る事が出来る。

『○○』…を持つと…(2020.08.21~)

The article was presented by 『TAKUMARO'S FACTORY』 ,
<https://www.factory-takumaro.com/>

この関数同士の関係式に、 $z=\pi$ を特別な値を代入して

$$e^{i\pi} = -1$$

を得る。これを書き換えれば冒頭の『博士が愛した数式…?』が得られる。

「…はあ?何を当たり前的事を言っているんだ…?」

いや、いや、…**全く、当たり前的事ではない!!!**

『誠実に』『謙虚に』『勤勉に』…

大学の数学科に進学し、さらに、大学院にて数学を専攻し

その結果、得られた『知識』や『技術』…になる。勿論、今回のお話のために、僕なりに、細部の復習をしたが。

でも、やはり…物語を返してその数式を、物語の中で初めて見たときに

「…はあ?何を当たり前的事を言っているんだ…?」

この態度は、『尊大』以外の何物でもなかったのだろう。

(唯一の救いは、それでも、疑問に持ち続け、2週間考え続けて、なんとなく自分の解答! ? と呼べるものに辿り着けたことか) なるほど…

『誠実であること』

『謙虚であること』

『勤勉であること』

『公正であること』

『責任を果たすこと』

…

この中の、『謙虚であること』の反対は、『尊大であること』になるのだろう…

まあ、他にもあるのかもしれないが、『誠実に』『謙虚に』『勤勉に』『公正に』努め、その『責任を果たすこと』。そのような姿勢で在り続けたいと思う。

『尊大』になる事がないように注意しながら…

By takumaro (2020.08.21)

The article was presented by 『TAKUMARO'S FACTORY』 ,
<https://www.factory-takumaro.com/>